

平成23年9月8日

各 位

マ ネ ッ ク ス グ ル ー プ 株 式 会 社  
代表取締役会長兼社長 CEO 松本 大  
(コード番号 8698 東証第一部)

本日、当社の子会社であるマネックス証券株式会社（代表取締役社長 CEO 松本 大）が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

マネックス証券株式会社 プレスリリース（添付）

**「ART IN THE OFFICE 2011」選出作品が完成**

以 上

**【お問合せ先】**

マネックスグループ株式会社

経営管理部 コーポレートコミュニケーション担当 久保田 電話 03-6212-3750

マネックス証券株式会社

マーケティング部 PR担当 町田 電話 03-6212-3800

平成 23 年 9 月 8 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

## 「ART IN THE OFFICE 2011」 選出作品が完成

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）の「ART IN THE OFFICE」プログラムにおける本年度の選出作品、渡邊トシフミ氏の「CHARACTERS（キャラクターズ）」が、この度マネックス証券本社オフィス内に完成いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

「ART IN THE OFFICE」は、マネックス証券が 2008 年より社会文化活動の一環として開始したプログラムで、本年度は 75 点の応募作品案から渡邊氏の作品案が選出されました。



「ART IN THE OFFICE 2011」 作品 渡邊トシフミ 「CHARACTERS」

### 記

#### 1. 完成作品およびアーティストについて

##### (1) 作品「CHARACTERS」について

作品「CHARACTERS」は、1枚のクロッキー紙に2色の水彩絵の具でさまざまな生物を描いたドローイング 245 枚から成る作品で、渡邊氏が約 2 週間にわたってマネックス証券本社にて制作活動を行い、会議室の縦 1.6 メートル×横 10.0 メートルの曲面の壁一面を温かな色調のキャラクターで彩っています。

本作品は 2012 年 5 月末まで展示予定です。本作品の詳細はマネックス証券ウェブサイト (<http://www.monex.co.jp>) にてご覧いただくことができます。(会議室は一般の方には公

開しておりません)

## (2) 渡邊トシフミ (わたなべ としふみ) 氏プロフィール



1985年新潟県新潟市生まれ。東京都在住。2009年日本大学大学院芸術学研究科造形芸術専攻修了。

日常における繰り返しの行為から着想を得、見慣れた生活空間をわずかに変化させる試みを続けている。在学中は主に鉄を素材とした彫刻を手がけ、卒業後はハンガーやマスキングテープ等の日用品を使用したインスタレーションや、ペンのインクが切れるまで無造作に線を描き続けるドローイングなどを制作している。空のペットボトルやフライドポテトの箱など、身近な既製品を使用した作品の多くは、都市空間における人間の行動パターンや感情を映し出している。

## (3) 渡邊トシフミ氏コメント：

「紙に2色の水彩絵の具というシンプルなドローイング作品は、僕の人生経験から生み出されたキャラクターたちを描いたものです。地球や宇宙にはいろいろな人間や生物がいます。まだ僕が出会い見ぬ人間や生物を思いながら、ひたすら描きました。紙と絵具だけで、いったい何をどれだけ伝えることができるでしょうか。最小限の素材を用いて制作するのは、常に自分自身の想像力との戦いでしたが、「CHARACTERS」のドローイングは描けば描くほど愛着が湧きました。オフィスに通って制作する前と後では、ドローイングの色調だけでなく、描くポートレートも変化していきました。絵を配置する際、同系色が隣合わせにならないようにする等、試行錯誤の連続でした。

作品が展示される会議室（プレスルーム）は、会社のなかで最も重要な決定がなされる場だと聞きました。僕が描いたキャラクターたちに囲まれながら、これからの1年、素敵な出来事がひとつでも多く起こればと願います。」

## 2. 「ART IN THE OFFICE」プログラムについて

本プログラムは、コンテンポラリー・アートの分野で活動する新進アーティストの支援を目的として、特定非営利活動法人アーツイニシアティブトウキョウの運営協力を得てマネックス証券が企画・主催しております。

広く作品案を公募し、5名の審査員によって選出された1名のアーティストがマネックス証券本社内の会議室にて作品を制作、完成後およそ1年間、会議室をその作品発表の場として提供するプログラムです。

過去の本プログラム作品および本年度プログラムの詳細につきましては、マネックス証券ウェブサイト (<http://www.monex.co.jp>) をご覧ください。

以 上